

経 済 協 議 会 協 議 事 項

日時	令和6年1月19日(金)
	本会議終了後
場所	第二委員会室

○ 所管事項の報告について

- 1 八戸市中小企業振興条例に基づく新事業活動に対する助成事業の認定について
- 2 八戸市公会堂・八戸市公民館ネーミングライツのスポンサー再募集について
- 3 八戸市体育館の建て替えに関する事業手法（案）の検討について
- 4 長根屋内スケート場中地（人工芝コート）使用料減免の試行について
- 5 長根屋内スケート場トライアル・サウンディングの実施について
- 6 令和5年八戸市中央卸売市場取扱高実績について
- 7 令和5年八戸市魚市場水揚げ実績について

八戸市中小企業振興条例に基づく新事業活動に対する 助成事業の認定について

八戸市中小企業振興条例第6条に規定する「新事業活動に対する助成」について、令和5年12月1日付けで助成対象となる事業を認定したことから、その概要を報告するもの。

1 助成制度概要

中小企業者が行う新たな事業活動（新商品・新役務の開発、商品の新たな生産・販売方式の導入、役務の新たな提供方式の導入 等）について、「八戸市中小企業新事業活動審議会」からの答申内容を踏まえ事業を認定し、その事業に要する経費の一部を助成する。

- (1) 助 成 額：新事業活動に要する経費のうち、次項の金額を上限に市長が定める額の100分の50に相当する額以内
- (2) 上 限 額：経営革新枠^{※1}・事業承継枠^{※2} 300万円
その他 200万円
- ※1…経営革新枠：県が承認した経営革新計画に基づく事業
- ※2…事業承継枠：事業承継等を契機として実施する事業
- (3) 助成期間：事業認定日より1年間

2 認定事業の概要

市が令和5年12月1日付けで認定した事業は次のとおり。（1件）

事業者	合名会社 菓子処丸美屋（代表社員 若山 忠義）
	八戸市小中野八丁目8-35
事業名	北海道・北東北の縄文遺跡群の出土品をモチーフにしたグミの開発
事業概要	ユネスコの世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の出土品をモチーフとしたグミ菓子を新商品として開発するもの。
事業費	400万円（うち、市の助成予定額200万円）

<試作品イメージ>



八戸市公会堂・八戸市公民館ネーミングライツのスポンサー再募集について

第7次八戸市行財政改革大綱に基づき、文化事業の充実と施設の良い維持管理を図るため、また企業による社会貢献活動及び企業広報の一環として、「八戸市公会堂・八戸市公民館」におけるネーミングライツ（施設命名権）のスポンサー企業を募集したところ、募集期間内に応募企業が現れなかったことから、契約条件等を変更の上、スポンサー企業を再募集する。

1. 対象施設

名 称 八戸市公会堂及び八戸市公民館
所在地 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

2. 募集期間

令和6年2月1日（木）～5月7日（火）まで （96日間）
※前回 令和5年11月1日～12月14日（44日間）

3. 希望契約条件

項目	条件
契約金額	<u>年額700万円以上</u> （消費税別）
契約期間	令和6年10月1日から令和11年9月30日まで5年間

※前回 契約金額 年額1,000万円以上
契約期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日まで5年間

4. 応募資格

法人（登記された法人）

5. スポンサー特典

	特 典
1	施設への特定呼称の表示
2	各種広報印刷物・ホームページ等での特定呼称使用
3	施設の優先使用（年3日以内の施設無償使用）
4	商品等展示スペースの設置
5	その他（契約期間終了後の優先交渉権）

6. 選定方法

市が設置する選定委員会において、応募金額、特定呼称案、申込者の業務内容等について総合的に判断し選定する。

なお、申込者が1者のみの場合でも、選定委員会において審査する。

○決定までのスケジュール

日程	内容
2 月 1 日～5 月 7 日	スポンサー再募集開始（募集期間：96 日間）
3 月～4 月	現場説明会開催
5 月下旬	ネーミングライツ・スポンサー選定委員会の開催 ・スポンサー候補企業の選定
R6 年 10 月 1 日	呼称使用開始

八戸市体育館の建て替えに関する事業手法（案）の検討について

1 基本計画策定の目的

令和4年11月に策定した八戸市体育館の建て替えに関する基本構想で定めた建て替えに関する基本的なコンセプトに基づき、フロアプラン及び規模等について、とりまとめること

2 基本構想で定めた建て替えに関する基本的なコンセプト

「する」スポーツ、「みる」スポーツ、「ささえる」スポーツ活動を促し、スポーツのある日常生活を支えるための多様な世代の誰もがスポーツに親しめるスポーツ振興拠点とし、主な日常時の利用はスポーツ活動とするが、非日常時はスポーツ施設としてだけでなく、各種コンベンションの開催等多目的利用が可能な施設となるよう必要な機能を整備

3 基本構想で定めた建て替えに向けて配慮すべき事項

（1）ユニバーサルデザイン

多様な世代の誰もが利用しやすい体育館となるよう配慮

（2）環境負荷の低減

可能な限り環境負荷の低減を図るよう配慮

（3）将来の需要に応じた仕様

将来の需要に応じた体育館となるよう配慮

（4）快適性

する・みる・ささえるスポーツそれぞれの立場における快適性に配慮

（5）配置

中心市街地との回遊性に配慮するとともに、長根公園外からのアクセス及び公園内の他の施設との動線を踏まえ検討

(6) 防災機能

指定避難所としての役割を担うことを検討

4 基本構想に基づくフロアプラン等の考え方

(1) メインアリーナ

バスケットボールコート3面分の面積とし、観客席は固定式で1,500席程度を想定

(2) サブアリーナ

バスケットボールコート1面分の面積とし、観客席は固定式で500席程度を想定

(3) メインアリーナとサブアリーナの一体利用について

メインアリーナとサブアリーナは一体的な空間として整備し、稼働間仕切りにより仕切る計画を想定

(4) 武道場

①柔道場

試合場2面分の面積とし、観客席は固定式で50席程度を想定

②剣道場

試合場2面分の面積とし、観客席は固定式で50席程度を想定

(5) プール

8レーンの屋内25m公認プールとし、観客席の整備を想定するとともに、水深の浅い子ども用プールの整備、並びに、学校体育等の授業の場としての活用を考慮し、プールフロアの利用等の水深の調整方法を検討

(6) トレーニングルーム

現状（面積717㎡）と同程度の規模の整備を想定

(7) 多目的スタジオ

卓球、ダンス等のスポーツ及び会議等に利用できる多目的スタジオの整備を想定

(8) 更衣室

シャワー付き更衣室を1階に1か所、更衣室を2階に1か所男女別に設け、1階の更衣室からプールへはプール利用者の動線とその他の諸室の利用者が交錯しないよう配慮することを想定

(9) 会議室

既存の八戸市体育館及びスポーツ研修センターにおける会議室等の稼働状況、及び長根屋内スケート場の会議室の稼働状況等を踏まえ、200 m²程度の大会議室を1室と、100 m²程度の中会議室を2室整備し、中会議室のうちの1室は稼働間仕切りにより3つに区分し、それぞれを小会議室としても活用できるよう計画することを想定するとともに、スポーツ等の利用も可能となるようフロアの仕様について検討

(10) その他の諸室

事務室、放送室、医務室、キッズスペース及び各種機械室等の必要な諸室を整備

(11) 駐車場

現状と同等以上の数の駐車場をまとめて設けるものとし、また、体育館のエントランスに近接して障がい者専用の駐車スペースを整備

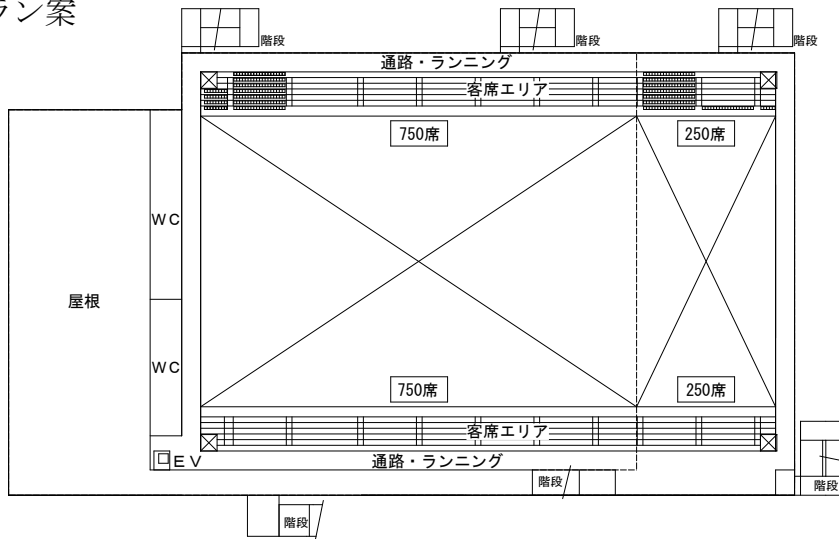
(12) 外構

現八戸市体育館の跡地等に広場及びジョギング・ウォーキングコースを整備するものとし、平時はイベント等を含む多目的に使える屋外スペースとして、大規模な大会・イベント時は駐車場として転用できるよう検討するとともに、災害時を考慮し、マンホールトイレ等を整備

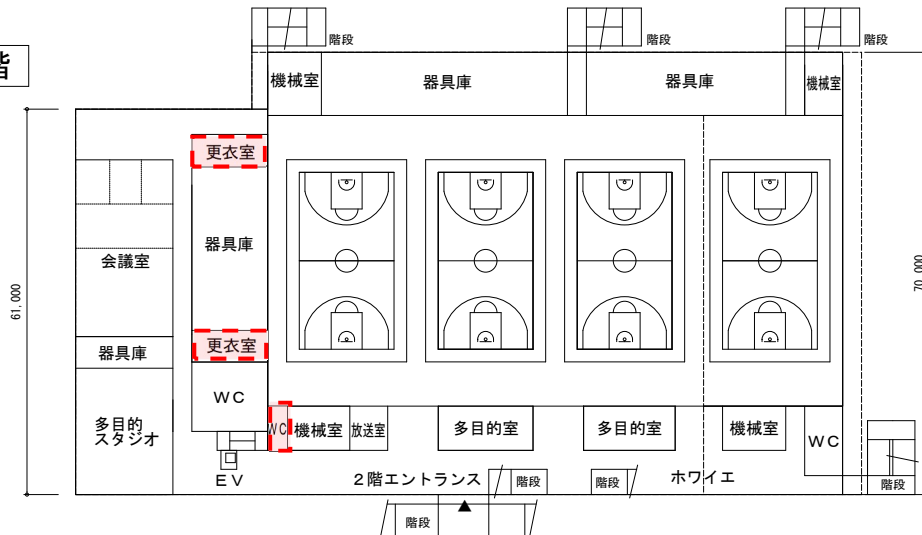
また、ジョギング・ウォーキングコースは、中心市街地との近接性を生かしたものとすよう検討

5 フロアプラン案

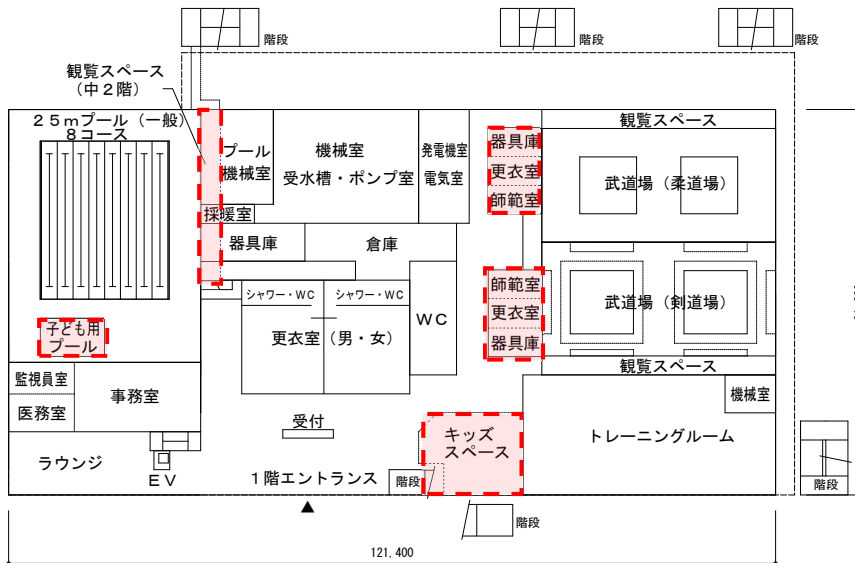
3階



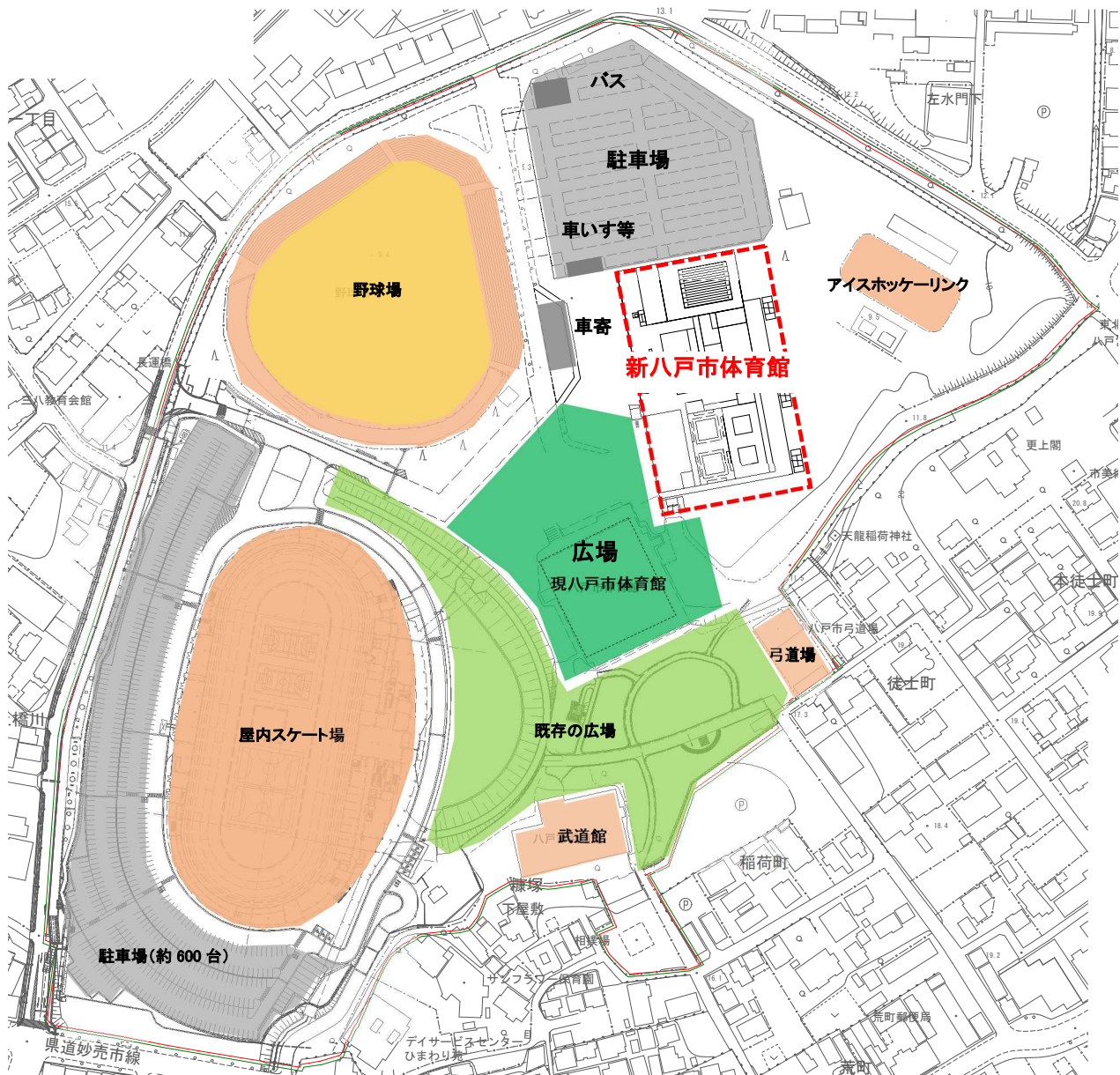
2階



1階



6 配置案



7 事業手法（案）の検討

市が自ら建て替え等を行う従来手法の他、民間事業者の創意工夫等を活用したP P P / P F I 手法の導入について検討することとしており、主なものとしては、DB+O方式、DBO方式、P F I－B T O方式があり、P F I－B T O方式は、資金調達を市が行う一括払い型と民間事業者が行う割賦払い型に分かれる。

(1) 事業手法 (案)

①従来手法

設計業務、建設業務、及び維持管理・運營業務を分割発注する手法

(スキームのイメージ)

八戸市	→ 契約 →	設計事業者	設計業務
	→ 契約 →	建設事業者	建設業務
	→ 契約 →	指定管理者	維持管理・運營業務

②DB (Design-Build) +O (Operate) 方式

設計業務、及び建設業務と維持管理・運營業務をそれぞれ別に包括的に民間に委ねる手法

(スキームのイメージ)

八戸市	→ 契約 →	J V { 設計事業者 建設事業者	設計業務 建設業務
	→ 契約 →	指定管理者	維持管理・運營業務

※ J V : Joint Venture (共同企業体)

③DBO (Design-Build and Operate) 方式

設計業務、及び建設業務と維持管理・運營業務を包括的に民間に委ねる手法

(スキームのイメージ)

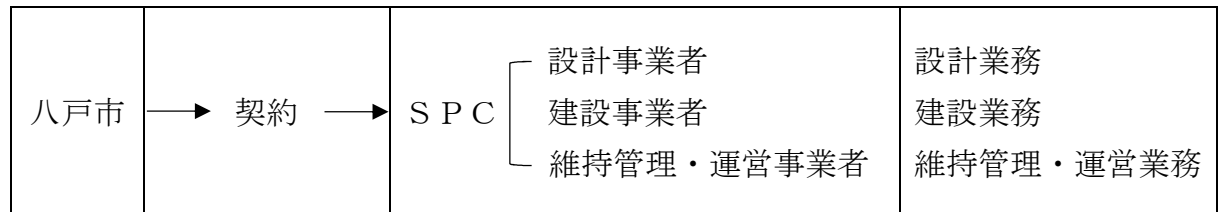
八戸市	→ 契約 →	J V { 設計事業者 建設事業者	設計業務 建設業務
	→ 契約 →		維持管理・運營業務

※ J V : Joint Venture (共同企業体)

④ P F I－B T O（Build-Transfer and Operate）方式

設計業務、建設業務、及び維持管理・運營業務を、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（P F I 法）に則り、民間に包括的に委ねる手法

（スキームのイメージ）



※ S P C：Special Purpose Company（特別目的会社）

（2）事業手法（案）の検討事項

① 定量的な評価

市の財政負担軽減効果としてV F Mの試算

※V F M（Value For Money）：従来方式で事業を実施した時とP P P / P F I方式で事業を実施した時の公共の支払額の差として計算され、公共施設の整備等に関する事業をP P P / P F I事業として実施するかどうかは、V F Mの有無を評価することが基本となる。

② 定性的な評価

市民サービス水準の向上、事業の安定性、供用開始までのスケジュール及び市の事務負担の軽減等定性的な評価について検討

8 今後のスケジュール

時期	内容
令和6年1月19日	第4回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・基本計画案の審議・答申
令和6年1月～2月	・事業手法案を含む基本計画案の検討
令和6年2月	・基本計画策定

長根屋内スケート場 中地（人工芝コート）使用料減免の試行について

1 目的

昨年実施した「公共施設の有効利用に関する市民アンケート」の結果を踏まえ、市民ニーズに沿った施設運営を図る取組の一環として、YSアリーナ八戸のアリーナ内にある中地全体の更なる利用向上と競技者人口の増加に資することを目的に、人工芝コートの使用料の減免試行を実施する。

【令和4年度 中地の利用状況】

区分		人工芝コート	多目的コート	比較
使用料	片面	5,000 円／時間	650 円／時間	約 8 倍の差
	全面	10,000 円／時間	1,300 円／時間	
利用可能時間 A		4,616 時間	4,634 時間	ほぼ同じ
利用時間 B		382 時間	2,669 時間	約 7 倍の差
利用率 B÷A		8.3%	57.6%	
収入額		1,730,000 円	1,492,010 円	約 24 万円の差

利用可能期間は 10 か月（解氷・製氷期の 2 か月間は使用不可）

○人工芝コート サッカーの様子



○多目的コート バトントワーリングの様子



2 実施概要

使用料を減免する実証試験を実施し、収集データや市民アンケートなどによりニーズの把握を行う。

(1) 実施期間 令和6年5月1日（水）～令和7年3月31日（月）

(2) 使用料

	半面（1時間）	全面（1時間）
現行料金	5,000 円	10,000 円
試行料金	1,000 円	2,000 円

市体育館 610 円＋照明料 390 円＝1,000 円 / 東体育館 610 円＋照明料 300 円＝910 円
※暖房料：市及び東体育館は別途徴収。

3 スケジュール

	R5			R6												R7		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
周知	→																	
実施期間					→													
実績まとめ・検証											→							
条例改正																→		
使用料																	※ →	

※実証試験の結果や市民アンケート、ヒアリング等の結果を踏まえ、使用料の改定を検討する。
その際、人工芝コートの使用料を減額する場合には、多目的コートについて市体育館や東体育館の利用料と同額程度に増額することも併せて検討する。

長根屋内スケート場 トライアル・サウンディングの実施について

1 目的

昨年実施した「公共施設の有効利用に関する市民アンケート」の結果を踏まえ、公民連携による公共施設の有効活用を図る取組の一環として、YSアリーナ八戸のサテライト施設を対象に、民間事業者等に施設が持つ魅力を引き出し、多目的な利用を通じた長根公園の活性化やスポーツ活動との相乗効果等が期待できる活用方法を提案いただき、施設利活用の可能性を調査することを目的とする。

「トライアル・サウンディング」とは、民間事業者との対話を通じて事業化に向けたアイデアや意見を把握するサウンディング調査に留まらず、実際に公共施設を暫定的に使用してもらい、民間事業者の提案事業を試験的に実施する機会を提供することで、本格実施に向けた課題・条件を整理するもの。

2 実施概要

(1) 対象施設

施 設 名	YSアリーナ八戸 サテライト施設
所 在 地	八戸市大字売市字興遊下3（長根公園内）
利 用 時 間	午前9時から午後9時まで
休 館 日	毎週月曜日（祝日等の場合は翌日）、12月31日、1月1日

サテライト施設外観



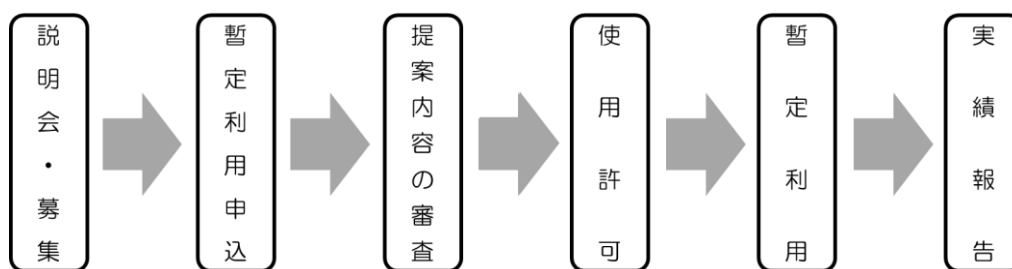
内観



面積：約 142 m²
設備：電気設備、給湯設備、トイレ（男女各1室）、
フリーWi-Fi 使用可、コンセント（15A×3か所）
火気厳禁 ※IH機器等を利用した調理は不可



(2) トライアル・サウンディングの流れ



(3) 実施スケジュール

	R5			R6												R7				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
説明会・募集		第1期		第2期			第3期													
実施期間																				
実績まとめ・検証																				
条例改正																				
使用者の公募・選定	※																公募	選定		
使用開始																				

- ・ 実施期間 令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）
- ・ 使用料 減免により無料
- ・ 使用期間 原則として1週間以上1か月以内

※利用者からの実績報告やモニタリング等の結果を踏まえ、サテライト施設の公募による使用を検討する。

令和5年八戸市中央卸売市場取扱高実績について

※八戸市中央卸売市場青果部取扱高実績	1ページ
※八戸市中央卸売市場花き部取扱高実績	2ページ
※令和5年東北各中央卸売市場取扱状況(※速報値を含む)	3ページ

八戸市中央卸売市場 青果部 取扱高実績

1. 取扱高 期 間 : 令和5年1月 から 12月まで (開市日数 253日)
数 量 : 97,695 t (前 年 比 98.8%)
金 額 : 22,485,041 千円 (前 年 比 103.0%)

2. 月別取扱高											上段:数量(t)と前年比		下段:金額(千円)と前年比	
区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	前年取扱高
野 菜	4,322	5,002	6,853	5,250	5,512	7,885	9,101	6,946	8,219	11,283	8,877	5,748	84,998	86,000
	91.4%	96.2%	115.4%	84.6%	91.7%	102.1%	110.6%	98.3%	96.5%	105.3%	94.5%	91.6%	98.8%	
	1,105,920	1,332,673	1,599,480	1,353,170	1,197,997	1,324,821	1,534,317	1,399,056	1,875,762	2,360,713	1,588,011	1,470,077	18,141,997	17,740,809
	91.5%	96.8%	104.9%	100.0%	86.6%	96.6%	101.0%	98.1%	114.6%	121.0%	103.6%	101.2%	102.3%	
果 実	981	1,094	1,149	822	735	664	754	1,177	929	1,141	1,546	1,411	12,403	12,549
	99.5%	101.3%	110.1%	93.8%	109.4%	105.9%	97.6%	104.8%	90.9%	94.7%	100.8%	87.7%	98.8%	
	285,804	312,432	342,219	272,747	274,216	291,508	323,031	414,026	315,308	381,621	471,661	478,483	4,163,056	3,899,715
	98.5%	96.7%	96.9%	90.9%	104.6%	104.1%	104.7%	114.6%	111.1%	122.7%	122.7%	108.3%	106.8%	
その他 (野菜・果実加工品、鳥卵、その他)	27	27	35	22	31	21	18	17	16	21	24	35	294	362
	82.1%	77.0%	74.9%	69.7%	78.6%	113.2%	91.2%	83.2%	76.1%	81.1%	71.8%	92.3%	81.2%	
	18,149	17,194	18,532	13,190	14,916	10,274	8,213	9,978	8,930	12,183	16,911	31,518	179,988	188,360
	103.8%	86.0%	87.4%	103.7%	98.7%	113.3%	84.2%	80.3%	81.6%	97.0%	99.0%	105.1%	95.6%	
合 計	5,330	6,123	8,037	6,094	6,278	8,570	9,873	8,140	9,164	12,445	10,447	7,194	97,695	98,911
	92.7%	97.0%	114.3%	85.6%	93.4%	102.4%	109.4%	99.2%	95.8%	104.2%	95.3%	90.8%	98.8%	
	1,409,873	1,662,299	1,960,231	1,639,107	1,487,129	1,626,603	1,865,561	1,823,060	2,200,000	2,754,517	2,076,583	1,980,078	22,485,041	21,828,884
	92.9%	96.6%	103.2%	98.4%	89.6%	97.9%	101.5%	101.3%	113.9%	121.1%	107.3%	102.9%	103.0%	

3. 入荷及び価格の状況

〔野菜〕 1月は10年に一度の強烈な寒波の影響から、物流・農作物に大きな影響を及ぼした。大根・キャベツ・レタス・白菜・きゅうり・ピーマン等は、軒並み前年を下回る取引で、単価高となった。2月から3月は気温の上昇とともに多くの品目で生育が回復し、前年比1割から2割の単価高となった。4月は温暖な気候であったものの、県産のごぼう・長芋は入荷減の単価高で推移、関東産の大根・キャベツ・白菜等も入荷減となり不安定な入荷が続いた。大型連休前は、需要の増加から野菜全般の相場が上昇したものの、連休明けは需要も落ち着き、また、葉菜類や果菜類なども入荷が潤沢となったことから相場は軟調となった。6月は生育順調となり、県産の大根や関東産の人参は、数量は前年の3割増、単価は平年の1割安であった。果菜類では胡瓜が高値となった。7月から9月は高温の影響で、全般的に品質が低下し、入荷減の高値傾向であった。10月も高温の影響が続く平年を上回る単価高が続いた。11月は気温も下がり、葉菜類や果菜類は生育が順調で軟調な相場。人参は北海道産が終了、長芋はキズ加工品が多いものの堅調な販売となった。

〔果 実〕 りんごは、他県産の在庫が多かったため荷動きは鈍く、特に大玉は厳しい販売でスタートした。2月まではりんご・いちご・みかん・柑橘類が主力の販売となり、いちごは低温の影響で出回りが少なく、高値が続いた。3月も販売の中心は変わらないものの、西瓜やメロンなどの果菜類の販売が始まった。4月から5月になると、いちごは終盤を迎えた。6月から8月までは県外産の西瓜・メロンが販売の主力、後半からは青森県産が販売の主力となり、数量は前年比2割増、単価は1割安。また8月から9月は高温が続く、品質低下が多く見られ、少ない入荷となった。10月は県内、県外産ともに夏場の高温障害による着色不良からの出遅れや品質低下によるロスが目立ち、ほぼ全ての品目において過去5年平均単価を上回る高値となった。11月は各産地の降水量が少なく、みかんは小玉傾向であった。

八戸市中央卸売市場 花き部 取扱高実績

1. 取扱高
 期 間 : 令和5年1月 から 12月まで (開市日数 241日)
 数 量 : 11,538 千本 (前 年 比 98.1%)
 金 額 : 1,153,628 千円 (前 年 比 100.4%)

2. 月別取扱高

上段:数量(千本・千鉢・千個)と前年比 下段:金額(千円)と前年比

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	前年取扱高
切 花	634	666	1,546	752	883	714	755	1,279	1,061	607	616	1,081	10,594	10,756
	106.7%	99.4%	104.7%	88.6%	105.0%	96.8%	103.0%	91.9%	98.2%	93.1%	93.0%	101.3%	98.5%	
	63,799	68,325	147,826	65,243	72,449	59,084	69,076	127,132	111,186	67,532	59,367	111,281	1,022,300	1,014,006
	113.0%	120.1%	110.8%	86.8%	93.1%	96.7%	106.0%	94.2%	106.7%	94.5%	88.8%	100.7%	100.8%	
鉢 物	4	7	14	13	12	9	4	2	3	8	9	7	92	89
	108.2%	119.1%	120.2%	90.4%	103.8%	136.3%	83.1%	126.2%	73.8%	118.8%	103.4%	77.8%	103.4%	
	2,019	3,620	7,099	7,721	7,317	4,418	3,684	2,354	3,187	4,252	6,269	4,574	56,514	54,152
	108.0%	111.2%	118.2%	89.2%	127.8%	94.3%	119.2%	105.3%	113.6%	114.7%	103.6%	75.4%	104.4%	
その他 (枝物、観葉植物、 苗物、植木、加工 品、その他)	36	115	83	101	115	98	39	39	38	40	39	109	852	912
	109.2%	93.1%	123.5%	80.1%	82.4%	90.6%	89.1%	156.1%	103.7%	89.6%	90.4%	90.3%	93.4%	
	2,343	5,125	5,517	9,922	10,034	8,152	3,973	3,586	3,760	4,920	4,192	13,290	74,814	80,659
	100.2%	105.4%	120.4%	76.0%	85.7%	86.1%	91.1%	134.7%	90.5%	93.9%	99.1%	94.9%	92.8%	
合 計	674	788	1,643	866	1,010	821	798	1,320	1,102	655	664	1,197	11,538	11,757
	106.8%	98.6%	105.6%	87.5%	101.8%	96.3%	102.1%	93.1%	98.3%	93.1%	92.9%	100.0%	98.1%	
	68,161	77,070	160,442	82,886	89,800	71,654	76,733	133,072	118,133	76,704	69,828	129,145	1,153,628	1,148,817
	112.4%	118.5%	111.4%	85.5%	94.3%	95.2%	105.6%	95.1%	106.3%	95.4%	90.5%	98.9%	100.4%	

3. 入荷及び価格の状況

〔切 花〕

年が明けて年末需要が終わると、国産品は安定して入荷、輸入品は不安定な入荷で取引がスタートした。2月まで国産品・輸入品ともに高値での取引が続いたが、3月になると学校行事や歓送迎会用の花が取引され、徐々に安定。4月中旬からは全国的に急激な気温上昇により開花が進み、動きは鈍くなった。5月から6月は父の日に向けてのヒマワリなど黄色い花が多く取引され、単価は中値で安定していた。7月から8月になると、高温の影響で品質は安定せず、輸入品が主な取引となった。また、品質維持が難しく注文のみの対応が目立っていた。9月は秋彼岸需要に対し入荷本数が少なく、中値から高値の単価で推移、高温の影響から品質低下や短いサイズの出荷が目立った。10月、11月になっても夏の高温の影響により、商品が少ない状態が続いた。輸入品は安定して入荷したが、品質低下により単価が不安定だった。国産品は入荷が少なく伸び悩んだ。

〔鉢物等〕

1月はシクラメンやポリアン類の入荷量が少なく高値基調となった。3月は贈答用の蘭類や観葉植物の引き合いが強く、苗物は県内から入荷したものの、引き合いは強くなかった。4月は関東や南東北からの入荷が多く、引き合いもよかった。また、八戸市緑化まつりに向けた取引もあり、動きはよかった。5月は母の日用として、小型の蘭物や紫陽花が多く入荷したが、やや落ち着いた相場であった。7月から9月は高温の影響で、県内や東北地方からの出荷はほぼ無く、関東からの入荷が主となった。また例年に比べて動きは鈍く、花痛みが目立った。10月になっても気温は高く、シクラメンや葉牡丹の引き合いが弱かった。

令和5年東北各中央卸売市場取扱状況（※速報値を含む）

【青果部】

数量					
令和5年 順位	市場名	令和5年 (トン)	令和4年 (トン)	前年比 (%)	令和4年 順位
1	仙台市	128,443	131,878	97.4	1
2	八戸市	97,695	98,911	98.8	2
3	青森市	59,093	59,083	100.0	3
4	盛岡市	50,461	53,627	94.1	4
5	いわき市	46,116	47,056	98.0	5
(参考)	秋田市	38,902	40,386	96.3	6

金額（税込み）					
令和5年 順位	市場名	令和5年 (千円)	令和4年 (千円)	前年比 (%)	令和4年 順位
1	仙台市	35,383,218	34,951,124	101.2	1
2	八戸市	22,485,041	21,828,884	103.0	2
3	いわき市	15,377,875	14,983,777	102.6	3
4	盛岡市	13,502,533	13,802,383	97.8	4
5	青森市	12,020,913	11,666,497	103.0	5
(参考)	秋田市	11,531,268	11,388,362	101.3	6

【花き部】

数量					
令和5年 順位	市場名	令和5年 (千本等)	令和4年 (千本等)	前年比 (%)	令和4年 順位
1	仙台市	89,637	92,522	96.9	1
2	秋田市	23,713	25,661	92.4	2
3	八戸市	11,538	11,757	98.1	3
(参考)	青森市	7,835	8,165	96.0	4
	いわき市	6,999	6,938	100.9	5

金額（税込み）					
令和5年 順位	市場名	令和5年 (千円)	令和4年 (千円)	前年比 (%)	令和4年 順位
1	仙台市	8,368,265	8,434,730	99.2	1
2	秋田市	1,899,414	2,008,189	94.6	2
3	八戸市	1,153,628	1,148,817	100.4	3
(参考)	青森市	730,306	757,662	96.4	4
	いわき市	603,024	590,369	102.1	5

- ・数値（基準日は12月末現在）は、八戸市が東北管内の各中央卸売市場に対し行った調査で得たもの。
- ・数量はトン未満、金額（税込み）は千円未満を四捨五入し集計したもの。
- ・速報値は、今後、変動する場合があること。
- ・秋田市の青果部、及び青森市、いわき市の花き部は、地方卸売市場に転換したが、参考として掲載するもの。

令和 5 年八戸市魚市場水揚げ実績について

※八戸市魚市場水揚げ実績 1 ページ

※令和 5 年全国主要市場水揚げ表 2 ページ

八戸市魚市場水揚げ実績（令和5年1月1日～12月31日）

令和6年1月19日現在

- 開場日数 278日（前年 280日）
- 水揚げ数量 37,605トン（前年比130%、8,729トン増）
- 水揚げ金額 10,932,097千円（前年比110%、950,502千円増）

主要漁業別水揚げ高

区分		数 量 （トン）					金 額 （千円）					単価（10kg当）（円）			
		令和5年 (A)	構成比 (%)	令和4年 (B)	比 較		令和5年 (a)	構成比 (%)	令和4年 (b)	比 較		令和5年 (α)	令和4年 (β)	比較	
					A-B	A/B*100 (%)				a-b	a/b*100 (%)			α-β	α/β*100 (%)
漁業別	い か つ り	225	1	422	△ 197	53	243,701	2	320,629	△ 76,928	76	10,831	7,598	3,233	143
	船凍スルメイカ	544	1	1,516	△ 972	36	833,516	8	1,677,901	△ 844,385	50	15,322	11,068	4,254	138
	船凍アカイカ	2,583	7	2,520	63	103	2,488,282	23	2,461,037	27,245	101	9,633	9,766	△ 133	99
	その他	4	0	8	△ 4	50	1,511	0	6,353	△ 4,842	24	3,778	7,941	△ 4,163	48
	計	3,356	9	4,466	△ 1,110	75	3,567,010	33	4,465,920	△ 898,910	80	10,629	10,000	629	106
大中型旋網	三 陸	15,701	42	10,424	5,277	151	1,104,501	10	651,013	453,488	170	703	625	78	112
	遠 海	6,880	18	2,218	4,662	310	636,091	6	167,717	468,374	379	925	756	169	122
	船 凍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
	計	22,581	60	12,642	9,939	179	1,740,592	16	818,730	921,862	213	771	648	123	119
機船底びき網	大 型	1,222	3	1,306	△ 84	94	540,276	5	522,676	17,600	103	4,421	4,002	419	110
	中 型	7,930	21	8,235	△ 305	96	3,773,880	35	3,020,395	753,485	125	4,759	3,668	1,091	130
	小 型	182	0	196	△ 14	93	78,040	1	96,730	△ 18,690	81	4,288	4,935	△ 647	87
	計	9,334	24	9,737	△ 403	96	4,392,196	41	3,639,801	752,395	121	4,706	3,738	968	126
そ の 他		2,334	7	2,031	303	115	1,232,299	10	1,057,144	175,155	117	5,280	5,205	75	101
水 揚 げ 総 数		37,605	100	28,876	8,729	130	10,932,097	100	9,981,595	950,502	110	2,907	3,457	△ 550	84

令和5年全国主要市場水揚表

令和6年1月19日現在

水揚数量				水揚金額			
順位 (昨年)	市場名	数量 (昨年)	対前年比	順位 (昨年)	市場名	金額 (昨年)	対前年比
1 (2)	釧路	189,416 (172,554)	109.8	1 (1)	焼津	50,855,134 (46,750,891)	108.8
2 (1)	銚子	188,965 (237,028)	79.7	2 (2)	博多	48,441,273 (42,716,403)	113.4
3 (4)	境港	120,108 (104,947)	114.4	3 (3)	長崎	33,617,157 (30,107,400)	111.7
4 (3)	焼津	118,955 (118,697)	100.2	4 (4)	銚子	27,281,033 (22,848,405)	119.4
5 (6)	長崎	110,071 (98,603)	111.6	5 (5)	境港	24,532,585 (21,692,313)	113.1
6 (5)	石巻	98,184 (103,425)	94.9	6 (11)	気仙沼	23,325,454 (13,817,815)	168.8
7 (7)	松浦	92,441 (84,710)	109.1	7 (8)	石巻	20,840,896 (18,553,145)	112.3
8 —	広尾	88,163 —	—	8 (6)	三崎	18,902,118 (21,190,556)	89.2
9 (8)	枕崎	69,155 (73,220)	94.4	9 (9)	枕崎	18,666,578 (17,573,233)	106.2
10 (11)	気仙沼	65,005 (45,967)	141.4	10 (13)	松浦	18,070,759 (13,588,987)	133.0
11 (10)	博多	62,320 (58,057)	107.3	11 (7)	稚内	16,093,952 (18,636,419)	86.4
12 (9)	稚内	58,379 (60,678)	96.2	12 (10)	根室	15,813,171 (14,447,471)	109.5
13 (12)	根室	42,690 (40,510)	105.4	13 (14)	釧路	14,323,148 (10,537,107)	135.9
14 (14)	八戸	37,605 (28,876)	130.2	14 (12)	下関	13,943,937 (13,804,037)	101.0
15 (13)	女川	29,235 (29,592)	98.8	15 (16)	塩釜	11,400,822 (9,568,912)	119.1
16 (15)	唐津	27,753 (26,955)	103.0	16 (15)	八戸	10,932,097 (9,981,595)	109.5
17 (16)	下関	21,001 (22,296)	94.2	17 (17)	沼津	8,236,114 (8,482,774)	97.1
18 (17)	三崎	17,145 (17,880)	95.9	18 (18)	女川	7,836,667 (7,544,285)	103.9
19 (19)	波崎	15,591 (16,038)	97.2	19 —	広尾	7,239,361 —	—
20 (18)	沼津	13,434 (17,684)	76.0	20 (19)	函館	6,827,748 (6,704,574)	101.8

数量:トン 対前年比:%

金額:千円 対前年比:%

※ 当データは八戸市が23市場(26団体)に対して調査を実施したもの

数量はトン未満、金額は千円未満を切捨てし集計(税込み表示)

令和5年から広尾を追加

焼津の値は小川を含んだもの

根室の値は歯舞、落石を含んだもの